

2018 - 19年度 国際ロータリー2820地区

米山記念奨学会 世話クラブ・準世話クラブ・学友会 合同セミナー出席報告

平成30年8月5日

於：つくば山水閣

当日も猛暑のなか、10時点鐘で始まり
役員紹介、役員挨拶の後、趣旨説明があり

Aグループ：カウンセラー、米山委員長

Bグループ：米山奨学生、米山学友に分
かれ分科会がありました。

分科会終了後、A・Bグループのまとめ
で米山奨学委員会より以下の内容が発
表されました。



カウンセラー：優秀な学生が多く、例会への参加も特に問題なく出席している。家族を交えた交流をしている。イスラム教徒の学生については、当初食事や宗教上の問題等戸惑いもあったが、現在は解消している。

奨学生：初めての出席には緊張したが、メンバーが皆さん親切に接してくれてだいぶ慣れました。メンバーの皆さんの食事が早いので、健康のためにも申し越しゆっくり食事をして頂きたい。(笑)

昼食をはさみ、カウンセラー、奨学生を代表して3名程度上記と同様の現状報告がされました。カウンセラーが初めての方は当初戸惑いもあったようで、複数回経験されている方は慣れた様子で日常の交流の話をしていました。

基調講演は2018-20 よねやま親善大使（3名のうち1名エジプト出身のアブデルアール・アアハメド）が現在、早稲田大学の考古学専攻でピラミットの話や日本に来た経緯（ある日、日本からの旅行者がレストランで行列しているのを初めて見て興味を持ったそうです）を話していました。

出席して、なんでこの時期にセミナーと思いましたが、オリエンテーションではなかなか説明も十分できないことがあるためだと感じました。9月には次年度の奨学生の募集が始まり1月に選考面接をすることです。選考の内容を確認したいという米山委員長については、面接にオブザーバー出席も良いとのことでした。

いままで数名の奨学生を受け入れた当クラブとしては、やはり準クラブではなく奨学生受入クラブとなっていきたいと思います。寄付総額ではなく、平均寄付額を見ているようです。